

2019. 8. 14

新たなステップ

3/4



五十川満さん

丸の内で写真展 五十川満さん (延岡市出身)

延岡市出身で現在、東京で活躍中のプロカメラマン五十川満さん(34)が4月に、草子イルムのギャラリー「FUTURE M Imaging Plaza Gallery」(東京都千代田区丸の内)で写真展を開く。国の伝統無形文化財に指定されている島根県の石見(いわみ)神楽をテーマとした作品で、同社主催の「Xチャレンジ」に応募し、認められた。

「Xチャレンジ」は、同ギャラリーで1カ月間にわたって写真展を開催できるもので、プロ・アマ問わず優れた方

メラマンの作品が集まる。しかし、開催量はが評価された。同ギャラリーでは初の展示。これまでにやった作品展以上のものにし

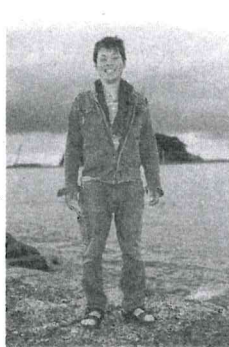
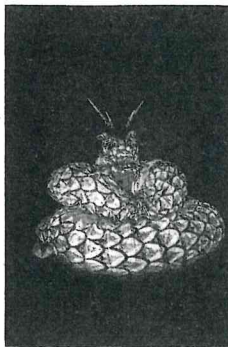
たい。誰も見たことのない、新しい石見神楽を見ていただける機会にできればと張り切っている。

延岡市西幡町出身で延岡工業高校OB。23歳の時に、写真家の宮澤正明氏に師事。伊勢神宮の125社すべてを撮影して腕を磨き、平成27年に高千穂の夜神楽をテーマにした

「面々(おもてま)」を撮影。同年独立し、雑誌や広告などの写真を手掛けるほか、テレビ番組の講師カメラマンも経験。平成28年には高千穂町の「神都観光大使」に任命された。

在。地内をまわく巡り、舞手の表情の表情や本番の舞、美しい神楽装束も自然など、石見の魅力を丁寧に撮った。

「二年に直行われ、海を渡り、舞う海神楽をはじめ、神楽の舞台裏や神話に染る風景、日本海のいきり火など、朝昼晩を通して撮れるものはすべて撮



五十川さんが出展する石見をテーマにした作品の数々

富士フィルム「Xチャレンジ」
4月1〜30日 テーマは石見神楽

備中神楽の日本三大神楽を写真に収め「日本の三大神楽」として、世界の人に見てもらいたい」という大きな目標を持っている。

今回のテーマは、その一つの石見神楽で、写真展のタイトルは「面舞(めんま)」と「石見神楽」撮影のため昨年9月から約1カ月にわたって現地を

は、地下鉄千代田線「重橋駅」3番出口から直轄の丸の内MPLAZA 3階。開催は4月1〜30日、平日午前11時〜午後5時、土曜日午前10時〜午後5時、最終日は同4時まで。13、20日は午後時から、五十川さん自身による解説もある。入場無料



延岡ガイドマン養成塾の修了者

延岡の歴史や観光地学ぶ

3/4 6人が修了 延岡ガイドマン養成塾

市外からの観光客を案内する有償ガイド「延岡ガイドマン」の養成塾の閉講式が13日、延岡市中小企業振興センターであり、5日間の全講義を受けた6人に修了証が渡された。

養成塾は延岡観光協会が主催して5日からスタート。3日間の座学講座と2日間の現地講習で、西郷隆盛にゆかりのある場所、城山や今山、愛宕山など延岡の歴史や観光地について学んだ。

閉講式で同協会常務理事で延岡ガイド・ボランティアの会会長の九鬼勉さんが「延岡は資源が豊富。ガイドとしてPRしていくことは大きな使命

で、率先してガイドしてもらいたい」とあいさつし、一人一人に修了証を渡した。

中学と高校時代を延岡

で過ごし、数年前に戻ってきたという秋吉ますみさんは「延岡のことを少しでも知ることができたという思いで参加したが、思いの外、深い内容だった。知的財産が多いということに改めて感じた」と話した。